

2020(令和2)年度

黒潮町の一般会計当初予算は 108億3,000万円です

— 前年度比10.3%(10億1,200万円)の増額となりました —

一般会計の概要

令和2年度当初予算は黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、「一次産業の新規就業者の拡大と所得向上の取り組み」「町外への消費活動流出防止の取り組み」「移住者支援施策の着実な実行」「切れ目のない子育て支援」「健康寿命延伸の取り組み」「小さな拠点」を活用した地域コミュニティ力向上の取り組み」「ソフト面を中心とした防災対策の充実」「地域とともに生きる力をはぐくむ教育の充実」の8点を重点項目とし、住民ニーズに的確に対応できるように予算の計上を行っています。

黒潮町の令和2年度一般会計当初予算は、前年度比10.3%(10億1,200万円)増額の108億3,000万円となっており、100億円を超える大型予算となりました。また、11個の特別会計を加え重複分を除いた純合計は136億5295万2千円で2.9%(3億8745万9千円)の増額となっています。

一般会計の増額の主な要因は、地域包括ケアシステムの充実を目

的とした白田川地区へのあつたかふれあいセンターの施設整備や、町営住宅の高台移転にともなう費用の増額などによるものです。後年度への財政負担を最小限とするためにも、限られた財源を有効活用し、行政サービスの質の向上と住民福祉の増進に向けて取り組んでいかなければならないと考えています。

歳入

歳入は、町税8億2,398万4千円(前年度比3.9%減額)など自主財源が35億9,309万8千円(構成比33.2%)、地方交付税39億円(前年度同額)など、依存財源は72億3,690万2千円(構成比66.8%)を見込んでいます。

町債は9億9,230万円(前年度比18.6%増額)で、臨時財政対策債(赤字地方債)1億3,800万円、過疎対策事業債5億9,570万円、旧合併特例事業債2億1,100万円、緊急自然災害防止対策事業債3,040万円などとなっております。令和2年度末の起債残高は125億6,007万4千円となる見込みです。

歳出

基金の繰入額は財政調整基金や特目基金など16億8,691万円(前年度比46.3%増額)を予定しており、令和2年度末の基金残高は39億5,980千円の見込みです。

歳出は、目的別では予算額の多い順に総務費27億3,305万円(前年度比16.1%増額)、民生費22億9,244万1千円(前年度比1.1%増額)、公債費14億8,519万5千円(前年度比9.0%増額)で、上位3部門のみで全体の60.1%となっています。

性質別では、義務的経費が人件費17億5,811千円(前年度比11.0%増額)、公債費14億8,519万5千円(前年度比9.0%増額)、扶助費5億9,621万9千円(前年度比0.2%減額)など37億8,199万5千円(構成比34.9%)を計画し、投資的経費は普通建設事業20億1,432万4千円(前年度比24.3%増額)など20億6,369万円(構成比19.1%)を予算計上しています。

特別会計	住宅新築資金	285万6千円
	宮川奨学資金	2,004万2千円
	情報センター	2億8,923万7千円
	国民健康保険	18億1,623万9千円
	国民健康保険直診	8,640万8千円
	介護保険	17億3,017万3千円
	介護サービス	1,874万7千円
	農業集落排水	4,220万9千円
	漁業集落排水	535万5千円
	後期高齢者医療	2億1,283万2千円
	水道事業	2億6,130万7千円

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその経費を明確にするために一般会計と区分して設けられた会計です。

黒潮町では、一般会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて11の特別会計があります。



令和2年度 8つの重点項目事業

◆ 一次産業の新規就業者の拡大と所得向上の取り組み

園芸用ハウス整備事業補助金	4,548万7千円
花卉予冷库整備事業	2,226万円
施設レモン産地化支援事業	1,265万円
投石漁礁設置事業	1,490万円
新規漁業就業者支援事業	295万8千円
新漁業等挑戦促進事業	270万円
緑の雇用補助金	184万円
新規狩猟者確保事業	42万5千円

◆ 町外への消費活動流出防止の取り組み

集落活動センター支援事業	595万3千円
中小企業等融資保証料補給	193万8千円
中小企業等融資利子補給	374万3千円

◆ 移住者支援施策の着実な実行

定住促進住宅整備事業	1億3,986万円
地域おこし協力隊	2,058万3千円
地方創生移住支援事業補助金	200万円
出会いの場創出事業	79万1千円

◆ 切れ目のない子育て支援

在宅子育て応援事業補助金	2,292万円
小中学生医療助成事業	1,674万円
乳幼児医療費補助金	1,193万8千円
子育て包括相談員	186万1千円

◆ 健康寿命延伸の取り組み

通所型短期集中運動機能向上サービス事業	994万6千円
シーサイドはだしマラソン	477万1千円
小さな拠点医療等相談事業	78万円
若者健康診査	47万9千円

◆ 「小さな拠点」を活用した地域コミュニティ力向上の取り組み

あったかふれあいセンター事業委託	6,710万円
あったかふれあいセンター施設整備事業	2,305万6千円
公共交通実証運行事業	360万円

◆ ソフト面を中心とした防災対策の充実

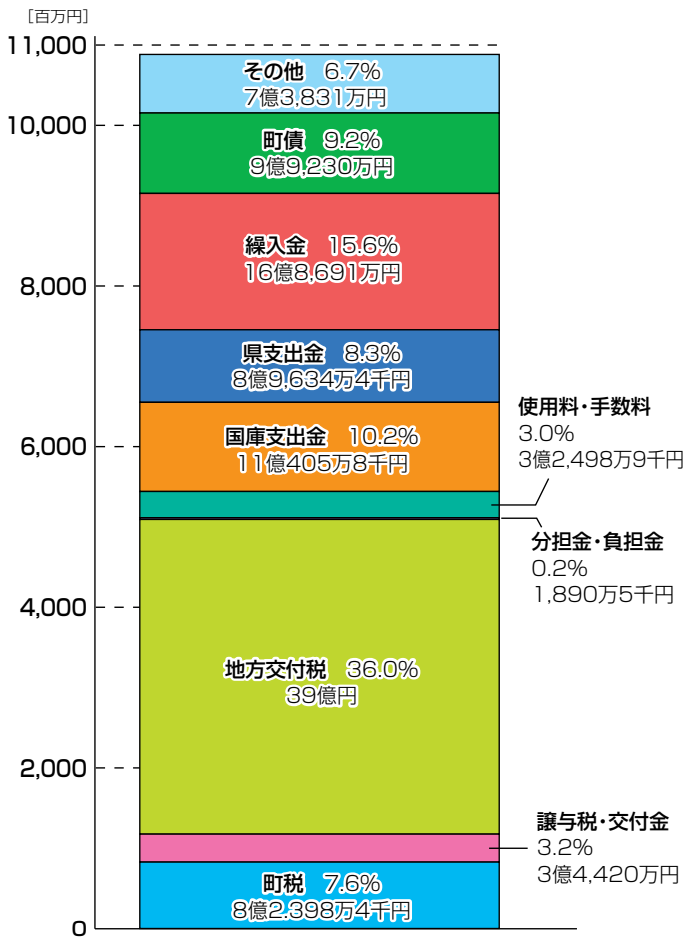
町営住宅等整備事業	3億7,926万2千円
木造住宅耐震事業	3億1,218万6千円
国土強靱化地域防災計画	662万2千円
地区防災計画作成共同研究委託	423万5千円
土砂災害対策支援業務委託	407万円

◆ 地域とともに生きる力をはぐくむ教育の充実

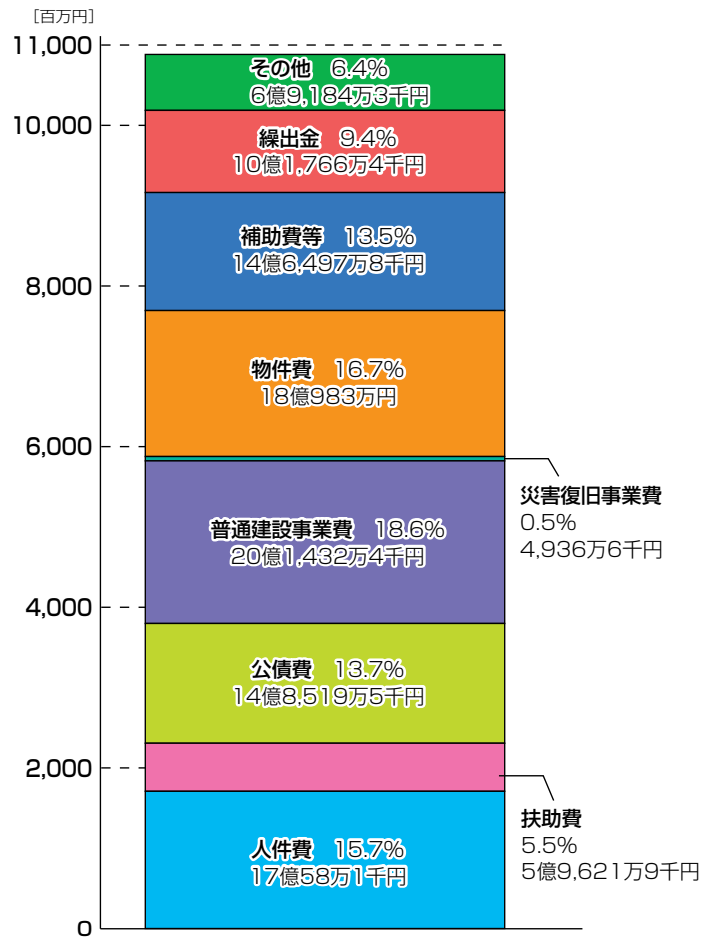
学校支援員配置事業(小・中学校)	2,711万9千円
放課後子ども教室推進事業	1,557万5千円
ふるさと・キャリア教育	499万4千円
外国語教育専門員配置事業	435万5千円
子ども見守りカメラ設置事業	135万8千円

令和2年度一般会計当初予算の内訳

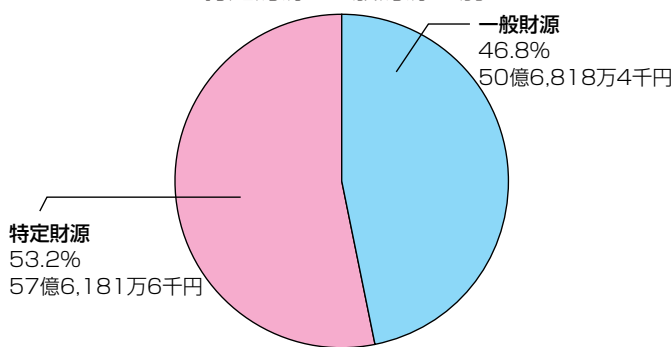
歳入



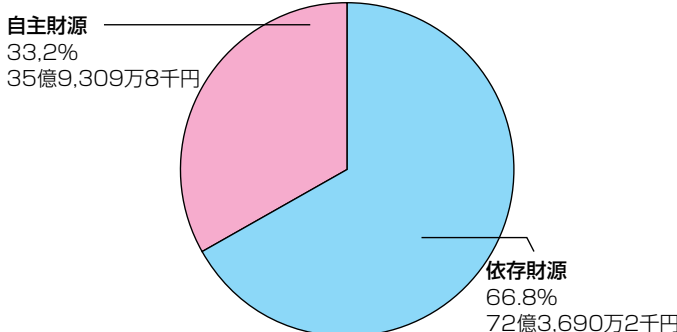
歳出(性質別)



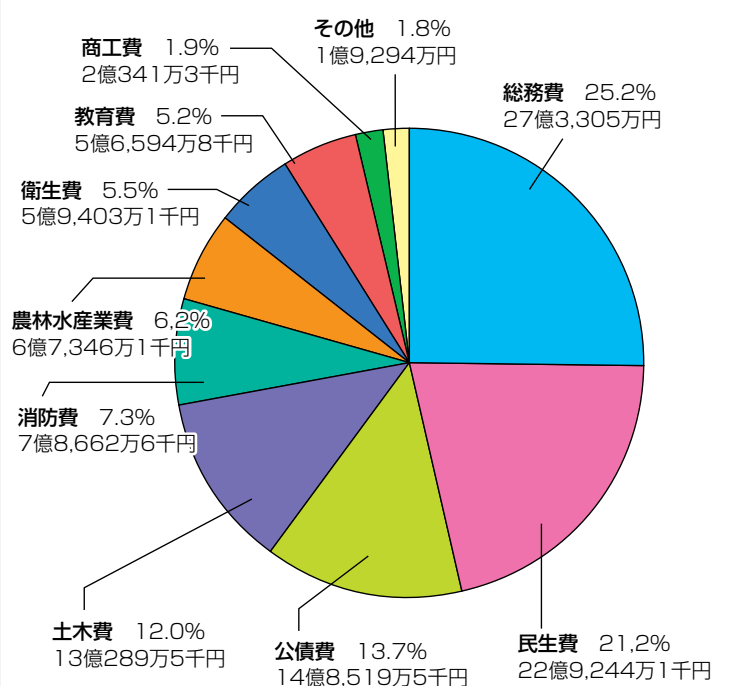
特定財源・一般財源の別



依存財源・自主財源の別



歳出(目的別)



総務費

247,156円

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務にかかる経費です。



令和2年度当初予算のうち、一般会計において町民1人あたりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口=町民1人あたり…

979,381円

※令和元年12月31日現在の人口で算出
(11,058人)



町民1人あたりの
予算の使い道



農林水産業費

60,903円

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



衛生費

53,720円

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



民生費

207,311円

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



消防費

71,136円

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



土木費

117,824円

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



商工費

18,395円

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



その他

17,446円

議会の運営経費や、災害復旧費にかかる経費などです。



公債費

134,310円

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



教育費

51,180円

小中学校の運営や人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

